

# 雅ねえの、みんなで取り組む

# 獣害対策講座 Vol.23

※タイトルに記載している『雅ねえ』の表記は、本人の原稿どおりで掲載の了承を得ています。

## おさらいと予習

### 前回

前回から、冬にやっておきたい獣害対策について、庭や畑周辺にある、大木予備軍みたいな不要樹木、脚立やチェーンソー使わない伐採、やってみた。

伐採でいっちゃん大事なことはケガしないこと、切った枝とか片づけながら切ることに思い出してね。

### 今回

今回は前回よりちよつとやっかいな、こんもり茂って森化しちゃった庭木の伐採。やっぱり危ないからチェーンソーは使わないし、脚立も極力使わない。

もし、庭にプロしか切れないような大木あっても、周りがきれいに伐採してある場合とそうでない場合では経費とか所要時間も大きく変わるから、できそうな所だけでも挑戦してね。

### 手を付ける順序

〈場所と順序〉

庭の樹木がなぜ、森みたい

になっちゃったのか、わかるかしら？

理由はただひとつ。お日様の争奪戦。

少しでも日照の多い空間に枝を伸ばそうってどの木も一斉に枝を伸ばす。植物にとって太陽光の遮断は枝枯れ、時には枯死にいたる命を懸けた争い。

上での日光争奪戦に負けた枝は争奪戦の激しくない隣の空間を狙う。

だから森化した庭の木って隣とかさらに隣の木の枝があちこちで絡みあったり交差したり。とにかく日光を遮られた木は高くなろうとする。

伐採は一口で言えばこの争奪戦にケリをつけ、残した木に日光を配分する作業。剪定はその配分が乱れて新たな争奪戦が始まるのを防ぐ作業って覚えてほしい。

だから、カキ、クリ、ビワみたいな残したい木が多い庭は南側から切り始める。

南側に高い木を残し北側から不要な木を切り始めたら、残した木がまた高い所ですぐに争奪戦始めちゃうでしょ。アツ、もし庭を囲った生垣が高く茂ってる場合は、それ

が庭の森化の一番の原因だから、生垣は残すにしても、真っ先に思い切った剪定やって低くしてみようね。

### どんな木を伐採して無くすか

#### ① 植えた覚えのない木

植えた覚えのない庭木は無条件に伐採。まず、生垣の中に澄まして入り込んでくるグミとかツバキとかピラカンサスやイヌビワ、ツルウメモドキやフジみたいなツル性の木が入り込んでくることもある。

植えた覚えのない木、代表選手がアカメガシワ、センダングラ、シュロ、クワ、カシ類。狭い庭なのに時々クスノキやエノキ、イチヨウなんかが大木予備軍になってることも多い。

#### ② じつは植えてない木

意外と無意識に残してしまっているのが果樹と花木。カキ、ビワ、クリにツバキなんか、植えた本数より増えてないかしら？

アツ、こんなところにカキが生えてきた！あれ、これはビワの苗木ねって思っても、それが食べられる果樹であつ

たり、あると使えるサンショウだと、ついつい残しちゃう。そして大きくなると、植えた木みたいに思っちゃう。心を鬼にして伐採。

#### ③ 混みすぎ、植えすぎ

ビワとカキとスモモの間隔が2メートルしかないなんて、明らかに植える時から混みすぎ。

果樹だけじゃない。花や実のきれいな花木類。ハナミズキ、サクラ、クロガネモチ、キンモクセイ。植物好きはわかるけど、木の身にもなってあげて。下枝が出せなくてなくてヒョロヒョロ伸びてるなら間引きの伐採！

切るか残すかの判断はパッと眺めて5秒以内にやる。考えなおさないこと。もう一度考えるって残しちゃうから。

### 心構え

前回に言った伐採の心構え、もう一度読み直してほしい。

伐採作業(他の農作業でも)とにかく大切なのはケガしないこと。服装とか道具とかいろいろ書いた。